



+αをたのしむ

ウィンドウファブリック、のアクセサリ

インテリアトレンドがどんどんシンプルへ向かっていったほんの少し前まで、カラーリングはニュートラルな主張しない色のバリエーションが様々な質感を纏って充実。直線で構成された空間を邪魔しないスタイリッシュな縦型パーチカルブラインドは、形の新鮮さも相まって本当に多くの現場でご採用頂きました。個人的にはかなり好きな形ではあります。しかし、ここ数年、ウィンドウファブリックの新作のトレンドはカラフルさを取り戻し、スタイル的なところでも少しデコラティブな傾向も復活の兆しが感じられます。

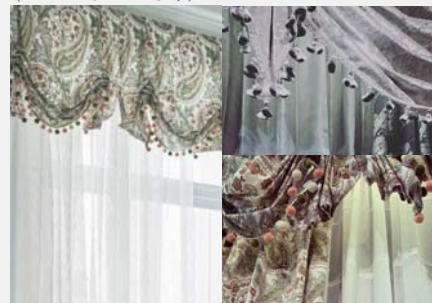
先日、高品質のテキスタイルを中心とするインテリア素材を提供される商社 **マナトレーディング** のオリジナルコレクション **MANAS-TEX vol.17** が発刊されました。マナさんは、世界各国のトップエディターのコレクションの紹介だけでなくオリジナル国内在庫品も、例えばイタリアのプロダクトを採用されたり、旬な海外や国内のデザイナーとコラボレーションをこまめに仕掛けて、常に刺激のある商材を紹介して下さる、我々としてはとても頼もしい情報源。今回は **日々の暮らしに磨きを掛ける究極の「エレガンス」** がテーマだとか。カラーリングが自由なシアーカーテンもさることながら、ニュートラルな色目の中に優しく匂うようなモープの温かさ、そして手工芸の親しみやすさも漂うアクセサリの数々が印象に残るコレクションでした。見本帳は弊社展示場でも近日中にご覧頂けると思います。

パーチカルブラインドなど所謂「メカもの」は商品を選べば完了なのですが、本来一枚の布に過ぎないファブリックで窓まわりを仕上げる場合にはもうひと手間が必要、だからこそメカものにはない楽しみも愛着も生まれる気がします。お部屋の雰囲気に合わせパターンや色・生地表情で「**布を選ぶ**」のが第一段階。次に「**形**」を決めます。フラットカーテンやたっぷりした二倍ヒダまでカーテンは様々。メカを組み合わせたシェードスタイルにするか、カーテンスタイルで、レールは機能性重視のアルミレールからデザインを効かせた装飾レール、どれを採用するのか。そして**仕上げるアクセサリ**。カーテンを開いた状態で固定する**タイバック**や裾を飾る**フリンジ**、そしてカーテンを吊る部分の**上飾り**、**バランス**のバリエーションも、今回のマナさんのコレクションでは存在感を放っていました。ずいぶん前、窓まわりにこだわられるお客様のためにバランスの形を色々調べた記憶もありますが、逆に昨今は生地の質の良さを邪魔しないシンプルな吊り方が好まれる傾向は間違い無くありました。しかし、こうアクセサリが充実してくると、使ってみたくなくなってしまいます。ちょっとした時代の気分を反映しているのかもしれませんが、アクセサリ類の中でも比較的取り入れやすい**タイバック**は他メーカーのコレクションを見ても、フサ形状のクラシックなスタイルは洗練され、クリスタルからロープ状、レザーの少しハードな物まで、素材も形もかなり充実してきています。

ウィンドウファブリックの「**アクセサリ**」、カーテンを選ぶ楽しさのもう一歩先を、機会あらば是非のぞいて見てください。



エレガントなモープ系が充実したコレクション (MANAS-TEXより)



上飾り=バランスもクラシックなスタイルはもちろん、可愛らしいフリンジで少し砕けた表情の魅力的な提案も。



百花繚乱のタイバック。イメージ通りのものも見つかりそう。
左/繊細なシア어도似合うマグネットタイプ
右/長さの調整も色の組み合わせもOk。画期的かつ軽やかな印象の新商品 (いずれもマナトレーディング社HPより)



左/マナトレーディング社新作。小鳥やツリーのモチーフが可愛いtentosenデザインのフリンジ。
右/ありそうでなかったレザーのタッセルはシャープなイメージに。(フェデポリマーブル社HPより)

📍 デザオ不動産流通 基準地価発表!!



去る9月20日、全国の基準地価が発表されました。それによると、京都市内中心部の商業地の地価はこれまでと変わらず上昇傾向にあり、住宅地でもわずかながら上昇しました。ただ、今まで地価上昇を索引していた宿泊施設需要も一段落し、今後下落に転じる可能性があります。

一方で郊外の地価はすでに下落に転じている地域も多く、二極化が鮮明となりました。このように不動産価格は社会情勢に大きく影響されますが、皆様の大切な財産でもあるため、今後の地価動向を注視することが必要になってきます。ご所有の不動産に関するご相談は、ぜひ弊社不動産流通部までお気軽にどうぞ。